

系	統	2液ウレアウレタン樹脂補強中塗材
特	長	1) 強く伸びる塗膜を形成し連続繊維シートを使用せずにコンクリートのはく落を防止する。
用	途	1) SBトフコートF工法、SBトフコートAU工法の補強中塗材 首都高速道路(株)橋梁構造物設計要領(コンクリート片剥落防止編)はく落防止工 同等
配	合 比	主 剤 : 硬化剤 = 10 : 3 (重量比)
荷	姿	13kgセット (主剤/10.00kg、硬化剤/3.00kg)
外	観 性 状	主 剤…灰色パテ状 硬化剤…淡黄色液状 混合物…灰色パテ状

## 可使時間の目安

タイプ	冬用 (W)		夏用 (S)	
温 度 [ °C ]	5	15	20	30
可使時間 [ 分 ]	30	20	20	15

※2回で1.8kg/m<sup>2</sup>を塗布する。2回目は、1回目に塗布した塗膜が乾燥していることを確認してから塗布する。  
紫外線により塗膜が黄変し、付着力が低下する場合がありますので、塗装間隔には、十分に注意する(塗装間隔は、塗装仕様書の参照をお願いいたします)。

比	重	1.20~1.50 (混合物液比重)
標	準 使用量	1.8 kg/m <sup>2</sup> (0.9kg/m <sup>2</sup> ×2回塗布)
貯	蔵 保証期間	6か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防 法 による 区 分	主 剤 指定可燃物 可燃性固体類 硬化剤 危険物 第4類 第4石油類 非水溶性
毒	物 及び劇物 取 締 法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当しない
使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) コテ、ゴムベラなどで塗布する。2回に分けて1.8 kg/m <sup>2</sup> を塗布する。
使	用上の注意	1) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 2) 接着面の表面処理を十分に行う(汚れ、水分の除去)。 3) 使用する前には、必ず主剤を攪拌する(液状分が分離する場合があります)。 4) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 5) 攪拌不良防止のため、一度攪拌したものを別の缶に移し変えて再度攪拌する。 6) 混合攪拌後すみやかに塗布し、可使時間内に塗布作業を終了する。 7) 硬化剤は空気中の水分と反応するため、開封後は、速やかに使い切る。

⚠ 注 意
-------

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>詳細については安全データシート(SDS)を参照してください。</li> </ol> |
|--|